

2016 年電波伝搬実験

JJ1SXA/池

今回も伝播実験は、昨年に続き、7 エリア福島だ、結果的には1エリア方面へのロケーションは心配していた通り余り良く無かった。

東北道への経路は、今までは青梅街道経由で大泉 IC から外環道、東北道へと進んでいたが、今年は新青梅街道から青梅 IC で圏央道、東松山 JCT 経由、東北道への経路にした、若干金額が高いが、圏央道の開通で、青梅 IC から直接東北道へ行けるのでこちらを選んだ。

途中のんびりと休憩をとりながら走り、二本松 IC で高速を降りて、国道459号線で、今宵の宿「岳温泉」に向かう、約 9km、15分位で温泉街到着、宿へは入らず、そのまま県道 386 号線の山道を「あだたら高原」に向かう、温泉街から15分位で「あだたら高原スキー場」に到着、広い駐車場でコンパスで方向を確かめると、山が邪魔することがわかったので、約 300m 坂を下り、一寸広い空き地で、再度コンパスで方向を確認、千葉県移動の JA1FYQ 局を除く、コントロール局 JA1WOB 局他の1エリア移動局の方向は、ちょっとした山があるが、まあ此处でしようが無いかと場所を決定、ちょうど反対側は、はるか下に二本松市街が見える、240 各局向けに数回 CQ を出すも応答ゼロ、若干不安を感じるが、まあいいかと、山を下りて宿にチェックイン、早速温泉へ入浴というところだが、大相撲の放送が気になる、夕食は19時からだから、TV ワッチ、相撲が終わったら即入浴、久しぶりの温泉は気持ちいい、インターネットで検索した通り、レビュー記事にあるように、このホテルの料理はかなり良い。

毎年、移動場所の選定に苦労している、少なくともコントロール局とは QSO できるロケーション、距離的には、おおむね 250km くらいが上限、且つ近くに温泉があること、伝搬実験を楽しむのか、温泉を楽しむのか、目的が曖昧だ。hi

さて、肝心の実験、WOB 局のコールが聞こえ応答するも、どうも受信できていない様子、S メーターはあまり触れないが、耳 S では 59 の感じ、こちらのパワー不足かとも思ったが、QSB のせいのような、こちらの受信時はピークで、相手の受信時がボトムの様子、若干時間をずらしたら、取ってもらえた、しかし他の移動局の信号はかなり弱い、かろうじて、JA1RIZ、JP1KHY局のコールの一部が聞こえた程度、ちょっと QSO には至らなく残念、まあ、コントロール局の信号が聞こえているので、今誰をコールしているかわかるので退屈はしない、結局はそのまま推移、実験終了が宣言されたので、車外に出て一服、車に戻ると、WOB 局とQSOする FYQ 局の信号がばっちり聞こえ、一生懸命ブレークをかけたが、ブレークがかからず、残念ながらQSO断念、その後も、WOB 局とQSOする RIZ 局、KHY 局の信号も 31 位で入感、何とかQSO可の信号強度だったが、ブレークがかかりません、ブレークタイムの重要性を再認識しました、やはり、「了解」等の発声の後一旦 PTT を離すことを実行してもらいたい。